

東京 2020 大会木材調達基準における先住民族の権利－森林認証制度の可能性と限界

小坂田裕子

はじめに

本報告では、特に木材の認証制度に焦点を当て、まず先住民族の権利の観点から、FSC と PEFC/SGEC の認定規格を比較し、その差異を明らかにしたうえで、それをいかに捉えるべきかを考える。その後、国立競技場建設で何が問題となり、それを組織委員会がどのように対処したのかを明らかにする。これらの考察を通じて、東京 2020 大会調達コードのみならず、森林認証制度の可能性と限界を示す。

I. 森林認証制度における先住民族の権利

(I は、拙稿『先住民族の権利に関する国連宣言』の機能と課題－土地に対する権利を中心に』『実証の国際法学の継承－安藤仁介先生追悼』(信山社、2019 年) 109－117 頁に加筆修正したものである)

1. 森林認証制度について

2. 先住民族の権利に関する FSC と PEFC/SGEC の比較

(1) FSC

(2) PEFC/SGEC

3. 小括

II. 東京 2020 大会木材調達基準における森林認証制度

1. 国立競技場建設における PEFC 認証材をめぐる攻防

2. 木材調達基準の見直しにおける議論

おわりに